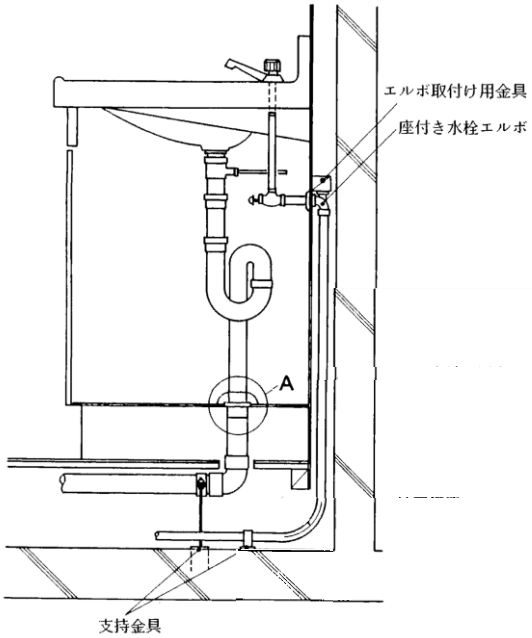
設備工事情報シート	衛 生	Ⅰ－P－2	制 定	2004年4月1日
			改 訂	2015年3月1日
Ⅰ．施工要領	集合住宅の水場廻りの施工		接続方法	

１．目的・概要

集合住宅の水場廻りは、施工不良などにより漏水事故が多く発生する場所である。工事中に厳守しなければならないポイントおよび引渡し後の点検方法について以下に述べる。

２．接続手順及び方法・注意事項

洗面器、流し台および洗濯機パンの施工の注意事項を示す。



(1)洗面器への接続方法

①給水・給湯管を洗面化粧台の背面に敷設する場合、立上り配管の頂部に座付エルボを使用し配管を固定する。

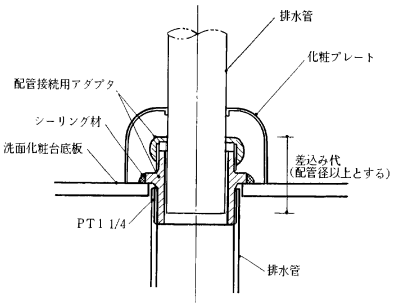
②給水・給湯管を洗面化粧台の中に敷設する場合、補強板を設け配管の途中で固定する。

③給水・給湯管が洗面化粧台の底板を貫通して立上がる場合、底板と配管のすき間はシールする。

④排水管接続用アダプタへの挿入長さは、配管口径以上とする。

⑤排水管接続用アダプタの挿入長さを確保するため、配管にマーキングを行う。

⑥排水管接続用アダプタは洗面化粧台底板より上部に設置し、メンテナンスが可能な位置にする。



A部詳細図

(2)流し台への接続方法

①給水・給湯管を流し台の背面に敷設する場合、立上り配管の途中で固定する。

②給水・給湯管を流し台の中に敷設する場合、補強板を設け、配管の途中で固定する。

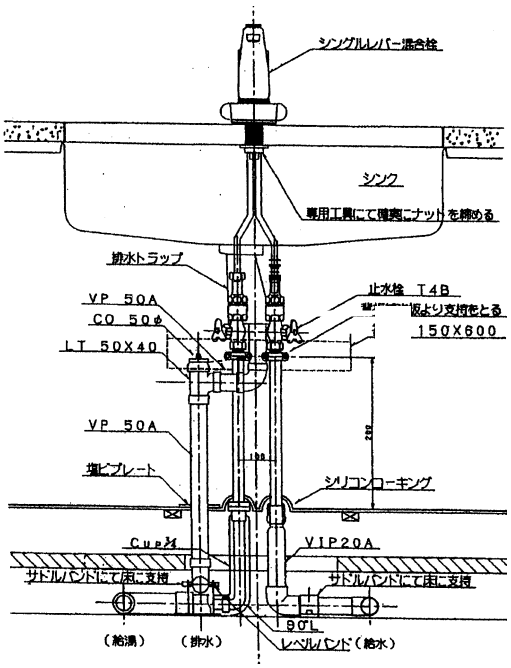
③排水配管の固定は、配管立ち上がり直前の箇所で固定する。

④流し台の裏・底面を点検するため、できるだけ大きな点検口を設ける。

⑤流し台の排水管立ち上がり部の途中に掃除口を設ける。

⑥配管が流し台の底板を貫通し立ち上げる場合、底板と配管の隙間をシールする。

⑦底板から配管を立ち上げる場合は、メッキ管接続部を底板より上方とする。



注:この情報シートは日建連の基準、規格ではありません

(3) 洗濯パンへの接続方法

①トラップと配管との接続は、実管もしくは専用のフレキにて接続する。

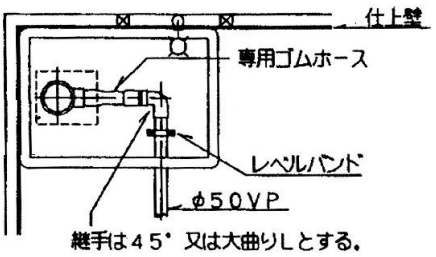
②トラップは掃除用ワイヤが容易に入る構造のものとする。

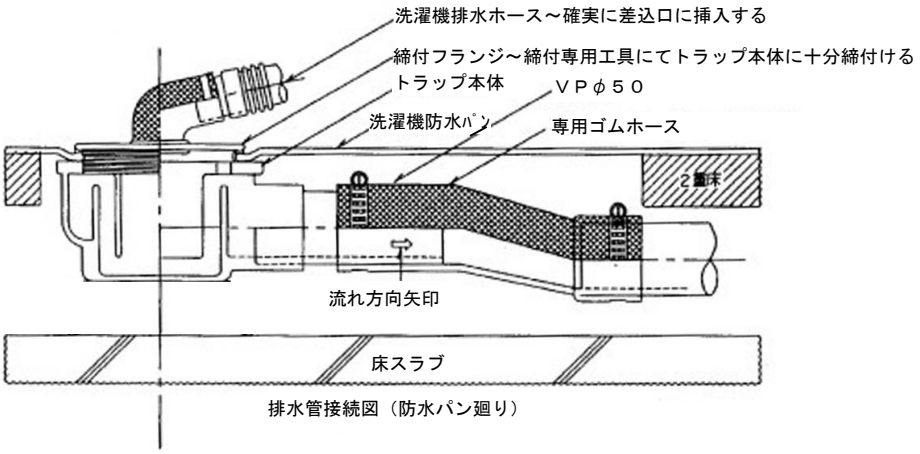
③エルボは大曲りを使用する。

④トラップの取付けは専用の締付治具で行う。

⑤洗濯パンの取付けは四隅を専用ねじで固定する等の振動対策を行う。

⑥トラップの脱着は、配管作業員が行うことを原則とし、脱着後の締め付け再確認を忘れずに行う。





排水管接続図（防水パン廻り）

注：この情報シートは日建連の基準、規格ではありません